

前回審議会でのご意見等に対する回答

資料1

該当箇所	ご意見・ご指摘	総合計画記載箇所	回答要旨
<p>全体について</p>	<p>・戦略的プロジェクト1でITやIoTについて触れられているが、国がSociety5.0を推進していることも踏まえると、教育や情報サービスなど他分野でもIT戦略を持った方がいいのではないか。【林委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想P23(教育・生涯学習・交流) ・戦略的PJ 基本目標③ ・施策調書(3-2学校教育の充実) 	<p>・教育分野では、現在、国が示している「GIGAスクール構想」に合わせた教育のICT化に向けた環境整備を進めることとしています。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・計画の趣旨と市の概要P4(働き方改革) ・基本構想P25(行政が取り組むべき事項の選択と集中) ・施策調書(4行政経営の適正化) 	<p>・市民サービスの充実や職員の事務効率化、働き方改革推進の観点からも、従来のオンラインサービスに加え、今後の進展が予想されるICT技術を活用したサービス導入についても検討することとしています。</p>
<p>持続可能な行財政運営1「協働の推進・地域活動の支援」</p>	<p>・空き地・空き家問題について、自治会としてはボランティアで草刈りをするなどしているが、市でも地域を支援できる仕組みを作ってほしい。【菅原委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の趣旨と市の概要P6(都市のスポンジ化) ・基本構想P25(官民連携の推進) ・施策調書(5-4住環境・空き家対策の推進) 	<p>空き家の問題につきましては、施策調書「住環境・空き家対策の推進」に記載しています。 地域活動に対し、集会所の新・増築工事や修繕、掲示板の設置等をするための各種補助金の交付や、活動中に偶然に発生した傷害事故等に対応できる保険の加入等の支援を行っています。また、市道や公園等の清掃美化活動に対し、アダプト・プログラム推進事業等により支援を行っています。今後も、更に地域を支援できるよう方策を検討していきます。</p>
<p>持続可能な行財政運営2「情報共有の充実」</p>	<p>・市民は、市に言えばなんでもやってもらえると思っている。これからは自助・共助が重要であると市民に発信することが必要。【菅原委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想P25(官民連携の推進) ・戦略的PJ 基本目標④ ・施策調書(1協働の推進・地域活動の支援、6-2防災体制の充実) 	<p>自治体の人員や財源が減少する中で、福祉やまちづくり、また防災の観点からも、自助・共助の考え方は必要不可欠なものとなります。今後も、あらゆる機会をとらえて市民に対して発信を行っていく必要があると考えています。</p>
	<p>・一般の市民が市のHPを見ることはなかなかないため、SNSなどを使って市民生活に関する情報にアクセスしやすい仕組み作りに取り組むことが必要。【菅原委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的PJ 基本目標③ ・施策調書(2情報共有の充実) 	<p>・他市町村の状況(使用方法や効果等)やセキュリティー面などを勘案して、必要に応じて環境を整備することとしています。また、現在運用しているツイッターの発信力も強化したいと考えています。</p>
<p>持続可能な行財政運営5「効率的な行財政運営の推進」</p>	<p>・公共施設の再配置について、現状や課題では触れられているが取組方針に記載されていない。(伊藤会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の趣旨と市の概要P6(公共施設・インフラの老朽化) ・基本構想P25(行政が取り組むべき事項の選択と集中) ・施策調書(5効率的な行財政運営の推進) 	<p>・施策調書「効率的な行財政運営の推進」に、公共施設の再配置に関する記載を追記いたします。</p>
<p>桜井の個性を活かした活力あるまち1-1「観光の振興」</p>	<p>・滞在型観光の推進とPRの推進が重要である。【福本委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の趣旨と市の概要P5(スーパーメガリージョンによる多様な対流と価値創造) ・基本構想P22(観光・産業)、P26(広域連携の促進) ・施策調書(1-1観光の振興) 	<p>・滞在型観光の推進に関しては、近隣市町村との連携による観光のパッケージ化や、外国人観光客の受け入れ態勢の強化等により対応することとしています。 ・PRの推進に関しては、VRを活用したPR動画を、動画再生サイトを通じて桜井市の四季折々の風景や名所を紹介することで、未だ桜井市を訪れたことのない人の探訪意欲を高めるような情報発信を行うこととしています。</p>
<p>桜井の個性を活かした活力あるまち1-5「雇用・労務対策の充実」</p>	<p>・外国人労働者の受け入れとあるが、引きこもりの方に関し社会に出て活躍してもらおうか、方針を示してほしい。【大園委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想P22(健康・福祉) ・戦略的PJ 基本目標④ ・施策調書(2-8市民の生活支援の充実) 	<p>・国では、自治体に対して、ひきこもりに関する相談ができる環境整備を行うことを求めています。桜井市では、生活困窮者自立相談支援機関「桜井市くらしとごと支援センター」において、ひきこもりの方やご家族からの相談を受け、ご本人の状態に応じて適切な相談機関につなぐとともに、ひきこもり状態から脱して社会生活を取り戻し、生活困窮から脱するための支援を行っています。</p>